

C-64 民俗服飾の研究 愛媛松前の売魚婦の装姿について。

聖カタリナ女短大 白石方子

目的 長い歴史のなかには、さまざまな時代があり、そこでいろいろな人の生き方、姿、形、服飾を残している。この売魚婦の装い姿は、今も人の心にふれるものがあり、松前^{まき}といえば売魚婦、売魚婦といえば松前というように、地名と、おたは結びつき切りはなして考えられない関係にある。何とゆかしい武家娘、姫物語り姿の形を残している。数百年の歴史を持つ実際の貴重なものとして、こゝに取り上げて研究したものである。

方法 調査にあたり、明治44年の「松前郷土誌」昭和27年6月20日公民館報（まき）創刊から、毎月毎号に郷土史として、記録があり、その資料や、このふるさとの伝統を知る人々から、伊予史精義、大念寺の「経世録」第五編、松前友田秀驥氏、伊予郡松前町筒井池分々スグ、新井おり江様（松前売魚婦組合長）其他、各方面で集録した。

結果 地域的、郷土的に特色を持つものが各種各様に、多く見受けられるが、この変った感じの服飾はお滝物語りの中の姫姿がしのばれるより姿であることが認められたこと、貴重な資料としての研究のできたこと、被服構成、持ち物、かぶり物まで、細かい部分までの記録の効をあげ得たことを感謝で終りとす。